

最後まで「環境報告書2003」をご覧ください、ありがとうございました。
この裏は本報告書に関するアンケートになっております。お手数ではありますが、
質問事項にお答えの上、以下の宛先にFAXしていただければ幸いです。

三菱自動車工業株式会社 経営戦略本部 環境技術部 FAX:03-6719-0034

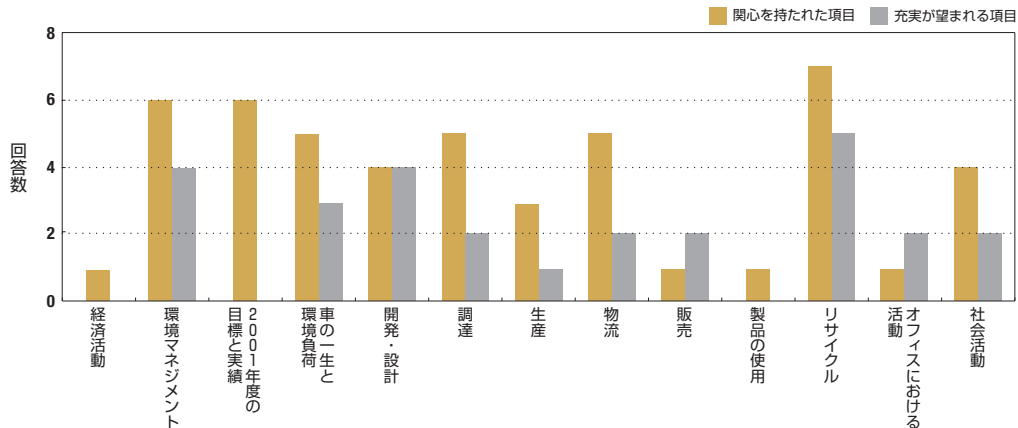
また、ホームページ上でも同じアンケートへの回答が可能です。
<http://www.mitsubishi-motors.co.jp/ECO>

皆様からの貴重なご意見・ご感想を参考に、来年度以降の環境報告書を
より一層充実させていきたいと考えております。

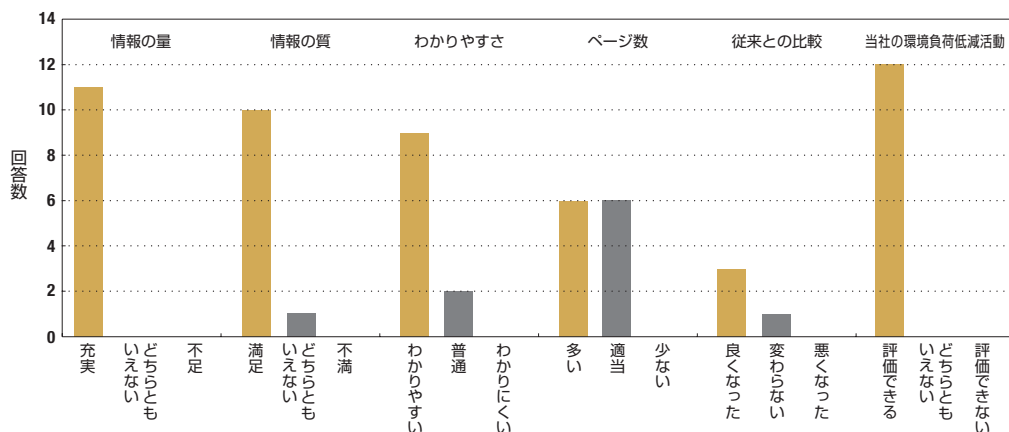
環境報告書 2002 アンケート結果

2002年10月28日発行の「環境報告書2002」は、本報告書と同様、冊子での配布（日本語版・英語版合計約2,800部）と、インターネット／イントラネットホームページ上での閲覧という2つの方法で社の内外へ公開し、計12件のアンケート回答をいただきました。（数字は2003年5月現在）

(1) 関心を持たれた項目及び充実が望まれる項目（複数回答）



(2) 環境報告書及び環境保全活動の評価



(3) 主なご意見・ご感想

- 用語解説が各ページにあり、大変参考になる。
- 自動車メーカー間で、環境報告書の内容にあまり差が無いように思える。
⇒わかりやすく伝えるために構成・内容を独自に工夫していますが、一方で複数企業の環境報告書を読まれる読者のため比較可能性も重視し、環境省のガイドラインや業界内外他社の環境報告書を参考にしています。
- ホームページから冊子を請求できるようにしてほしい。（環境報告書2001のアンケートより）
⇒2002年12月より対応しています。（その時点での最新版が請求可能です）
- 三菱自動車のインターネットサイト上において、報告書の掲載場所がわかりにくい
⇒インターネットサイトのリニューアル（2003年秋頃を予定）の際に、わかりやすく改善する予定です。

環境報告書 2003 アンケート

お手数ですが、質問事項にお答えの上、以下の宛先にFAXしていただければ幸いです。

三菱自動車工業株式会社 経営戦略本部 環境技術部 FAX:03-6719-0034

Q1.お読みになられたことがある当社環境報告書をお聞かせください。(複数回答可)

1999年度版 2000年度版 2001年度版 2002年度版 2003年度版(以下、本報告書と表記)

Q2.本報告書の発行・存在をお知りになったきっかけは何ですか?(複数回答可)

新聞記事 雑誌記事 その他の報道関係 三菱自動車/三菱ふそうホームページ その他のインターネット
三菱自動車/三菱ふそう社員 三菱自動車/三菱ふそう販売店 三菱自動車/三菱ふそう取引先各社
その他(具体的に)

Q3.本報告書はどのような立場でお読みになりましたか?(複数回答可)

お客様 取引先 三菱自動車/三菱ふそう株主 企業・団体の環境担当 環境NGO/NPO 大学等の研究・教育機関
学生 報道機関 政府・行政機関 金融機関 投資家 三菱自動車/三菱ふそう事業所の近隣にお住まい
三菱自動車/三菱ふそう及び関連会社の従業員・家族 その他(具体的に)

Q4.本報告書で関心を持たれたのは、どの項目ですか?(複数回答可)

経済活動 環境マネジメント [1]開発・設計 [2]調達 [3]生産 [4]物流 [5]販売
[6]製品の使用 [7]リサイクル [8]オフィスにおける環境保全活動 社会活動

Q5.今後、内容の充実が望まれるのは、どの項目ですか?(複数回答可)

経済活動 環境マネジメント [1]開発・設計 [2]調達 [3]生産 [4]物流 [5]販売
[6]製品の使用 [7]リサイクル [8]オフィスにおける環境保全活動 社会活動

Q6.今後、追加を望まれる情報は何か?

()

Q7.本報告書全体の評価をお聞かせ下さい。

(1)情報の量: 充実 まあ充実 どちらともいえない やや不足 不足
 (2)情報の質: 満足 まあ満足 どちらともいえない やや不満 不満
 (3)わかりやすさ:わかりやすい まあわかりやすい 普通 ややわかりにくい わかりにくい
 (4)ページ数: 多い やや多い 適当 やや少ない 少ない

Q8.(過去の当社環境報告書をお読みになられた方へ)本報告書は従来版に比べていかがでしたか?

良くなった まあ良くなった 変わらない 従来の方がやや良かった 従来の方が良かった

Q9.本報告書で紹介した三菱自動車/三菱ふそうの環境負荷低減活動をどう評価されますか?

評価できる まあ評価できる どちらともいえない やや評価できない 評価できない

Q10.今後、三菱自動車/三菱ふそうに要望される環境負荷低減活動は何ですか?

()

Q11.今後の環境報告書の媒体としては、どれが適当であると思われますか?(複数回答可)

紙 インターネット CD-ROM その他(具体的に)

Q12.その他、ご意見・ご感想がありましたらお聞かせ下さい。

()

ご協力ありがとうございました。差し支えない範囲で下欄へのご記入もお願い致します。

お名前	(フリガナ)	性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	ご年齢	歳
ご住所	〒 -				
電話番号	FAX 番号			E-Mail アドレス	
ご職業・勤務先	部署・役職			お使いの車	<input type="checkbox"/> 三菱車 <input type="checkbox"/> 三菱車以外

三菱自動車は「環境報告書」を環境関連情報の開示を目的に1999年から年1回のペースで定期的に発行しており、本報告書が5冊目となります（これまでの発行履歴はP.19）。この最新版を含む過去全ての環境報告書は三菱自動車インターネットホームページ（<http://www.mitsubishi-motors.co.jp/>）上でご覧いただけます。

2003年1月、三菱自動車はトラック・バス事業を「三菱ふそうトラック・バス株式会社」として分社しました。しかし、本書「環境報告書2003」は2002年度の活動報告が中心であり、該当年度の大半の期間で一体の「三菱自動車工業株式会社」として活動していることから、三菱自動車と三菱ふそうの2社合同で本報告書を発行することにしました。次回以降の発行形式については今後検討していきます。

本報告書では、大幅改訂を実施した前回に引き続き、「環境の専門家が求める情報の質・量を満たすこと」「一般のお客様にとってわかりやすいこと」という相反する2つのテーマの両立を目指すため、具体的な解説、定量的データの充実、図やグラフを多用したビジュアル化などに配慮して、構成・内容をアップデートしています。さらに、報告対象年度の終了後できるだけ早期に報告するのが望ましいとの考えから、発行時期を前回（10月）から繰り上げて7月としました。

また、三菱自動車／三菱ふそうの環境関連情報について更に理解を深めていただくには、その背景にある企業活動の全容を紹介しておく必要があると考えています。そのため、前回から追加の経済活動・社会活動に関する情報について、更なる改善・充実を図りました。加えて、三菱自動車は本報告書の他に広報資料として「ファクトブック」「Annual Report」を発行していますので、環境関連以外の当社の活動について更に詳しい内容を知りたい方は、こちらの資料もあわせてご覧下さい（これらの資料もホームページ上で閲覧できます）。

なお、三菱自動車／三菱ふそうは、環境報告書が宣伝目的のカタログやパンフレットの類ではなく、あくまでも社の内外に向けた「報告書」であることを重視しており、掲載する情報は社内で慎重に精査し、中立性・信頼性の確保にできる限り努めています。「第三者レビュー」はこれまでと同様に見送りましたが、今後の課題として、レビューのベースとなる何らかの明確な環境報告書作成開示基準、審査基準、レビューガイドラインなどの整備・確立の状況をみながら、実施を検討したいと考えています。

次回の発行は2004年夏頃を予定しています。開始2年目となる環境サステナビリティプランの進捗状況を中心に、2003年度の様々な取り組みについて報告します。また、最新の情報については、ホームページや、報道機関へのプレスリリース発行などという形で随時公表しています。今後も、環境報告書等による情報開示の更なる充実化を引き続き目指していきます。

インターネットで三菱自動車／三菱ふそうの環境への取り組みを紹介しています。

<http://www.mitsubishi-motors.co.jp/ECO/>

<http://www.mitsubishi-fuso.com/ECO/>